第２号
令和２年１１月２０日発行
香川県立聾学校

学校だより

令和２年度 学校開放日アンケート集計結果

今回の学校開放日は、１５０人以上が来校され、約６０枚のアンケートをご提出いただきました。その集計結果を以下のようにまとめましたので、ご報告いたします。

学部	意見・感想
幼稚部	・少人数で個別に関わりながら生き生きと学べる環境ができあがっていて、幼児の笑顔が見られ、こちらまでうれしい気持ちになりました。 ・ハロウィンごっこでは、遊びの中で楽しみながら手話を覚えることができていました。 ・先生方がずっと笑顔で、子どもたちを温かく見守っていたのが印象に残りました。
小学部	・国語で、体を使ったり視覚的な要素を多く取り入れたりして、漢字の成り立ちや書き順を丁寧に説明することで、児童が面白く学べていました。 ・マンツーマンの授業環境の中でみんなしっかりと勉強できていましたが、道徳に関しては意見の広がりがないので、一長一短の部分もあると感じました。 ・体育では、ホワイトボードやジェスチャーをよく活用して、聞こえの難しさをカバーする手立てが良かったと思います。
中学部	・理科では、写真を使った説明が分かりやすく、その後実際に畑に出てサツマイモのツルの長さを測るという組み立てが面白かったです。 ・合奏では、指揮者をよく見てテンポやリズムを合わせて上手に演奏できていました。聴力のハンデを抱えてどのように音を合わせているのかとても興味をもちました。 ・中学生という多感な年頃なので、授業を見られるのが恥ずかしかったようで、集中できていない様子も見られました。参観方法の見直しをされてはいかがでしょう。
高等部	・授業によっては先生の手話が少ないのが気になりましたが、数学ではタブレットと黒板を併用して分かりやすい授業をしていたと思います。 ・家庭科の授業の中で、発表する内容の自信の度合いを５段階で表現させているのが面白い工夫だと思いました。 ・三木高校との交流会では、手話よりも口話によるコミュニケーションの場面が多かったですが、聾学校の生徒たちが積極的な態度で交流に取り組んでいたのがとても印象的でした。

☆全体の主な感想・ご意見☆

・手話や指文字を使った展示や言葉のニュアンスの捉え方の違いを調べた掲示が興味深かったです。
・３色灯など聾学校にしかない設備があり、どのようなものなのか説明があればもっと楽しめたと思います。
・先生がマウスシールドを装着するなど、聴覚障害の子どもたちとのコミュニケーションに配慮しているという、他の学校とは違う面が見られて良かったです。
・口話中心の授業が見受けられたので、声や音でコミュニケーションをとる子どもたちが多いのでしょうか。

たくさんの感想やご意見をいただきました。
次回に向けて十分検討し、対応していきたいと考えています。
ご協力ありがとうございました。